冬休み、続行

伊藤貴晴　作

【登場人物】

女１ 高校生

女２ 高校生

女３ 高校生

 女１の部屋。女１がベッドで寝ている。

 女２と女３がいる。

女２ 女１、起きなさい

女１ 嫌だ

女２ 起きなさい

女１ 嫌だ

女２ 起きろって

女１ 嫌だって

女３ まあまあ

女２ 女１、何で学校来ないの？

女１ 別にいいでしょ

女２ よくないでしょ

女１ 関係ないでしょ

女２ 関係あるでしょ

女３ まあまあ

女２ もう冬休み終わったんですけど

女１ 知ってますけど

女２ もう冬休み終わって一週間も経ったんですけど

女１ 知ってますけど

女２ だったら学校来いよ

女１ 何でお前に来いって言われなきゃいけないの？

女２ こっちは心配してあげてるんですけど

女１ 頼んでませんけど

女２ それが友人に対する態度か？

女１ 善意を押し付けてくるのが友人か？

女２ 何だその言い方

女１ ほら怒った。自分は優しいつもりでも、思い通りにならないと怒る自己中心的で上から目線のアンポンタン

女２ いい加減にしろよ

女３ まあまあ

女２ だってせっかく来てあげたのに

女１ その「来てあげた」とか「心配してあげる」とか、よっぽど自分が偉いと思ってるんだね。アゲアゲだね

女２ お前、今すぐそこから出てこい

女１ やめろ、やめろ

女３ ちょっと待って、落ち着いて

 女２が女１の布団をはがそうとするのを女３が止める。

女３ 落ち着け

 間。

女３ 熱くなるな

女２ こいつが悪い

女１ 悪うございました

女３ お前も煽るな

女１ はい

女３ 何で学校休んでるの？

女１ 行きたくないから

女３ どうして？

女２ 性格悪いからいじめられてるんじゃないの？

女３ 女２、黙って

女２ はい

女３ 冬休み前まで普通だったでしょ

女１ うん

女３ どうして？

女１ そんな大した理由じゃないけど

女２ フラれたんでしょ

女１ あ？

女２ １２月２４日に彼氏にフラれたんでしょ

女１ 何で知ってるの？

女２ そんなのクラスのみんな知ってるよ

女１ 何でよ？

女２ ラインで回ってきたもん

女１ 最悪。誰だよ言ったの

女２ かわいそう

女１ かわいそう言うな。女２だって彼氏いないだろ

女２ 私は元々彼氏いないんだから。クリスマスイブにフラれる女はそういないよ

女１ むきー

女２ 女１、サンタさんに何もらったの？　失恋という人生のスパイス？

女１ 何言ってんだお前

女３ うるさい

 間。

女３ 女２、女１を迎えにきたんでしょ

女２ うん

女３ 傷口えぐってどうするの

女２ ごめん

女１ でも私、フラれたから学校行かないわけじゃないよ

女２ 嘘つけ

女３ 女２うるさい

女２ はい

女３ じゃあ何で？

女１ 行こうと思ったんだけど、冬休み終わったんだって思って、何か、冬休み終わるの嫌だって思って、それで

女２ それで休んでるの？

女１ うん

女２ バカじゃないの？

女１ うるさいな。バカって言うな

女２ だってバカじゃん

女１ バカじゃないよ

女２ バカだよ。冬休み終わるのが嫌で学校休んでんだよ。そんな理由で学校休むなよ。バカだよ

女１ バカって言う方がバカなんです

女２ そんなの何の根拠もないです

女３ 女２、いい加減にしな

女２ だってこいつムカつくんだよ

女３ いいじゃない、どっちもバカなんだから

女２ 女３、しれっとひどいこと言うなよ

女３ 事実でしょ

女２ そうだけど

女１ おいバカ

女２ 何だバカ

女１ 学校休むのはバカだって言ったけど、私に言わせれば、学校行く方がバカだね

女２ 何それ？

女１ 女２、何で学校行ってるの？

女２ え？

女１ 何で？

女２ 勉強するため

女１ 嘘つけ。女２、勉強嫌いでしょ

女２ 将来のためだよ

女１ 将来何するの？

女２ 決めてない

女１ そんな不確かな目標に向かって毎日毎日学校行ってるわけ？　そんなの何もしてないのと同じだよ。いや、何も考えてないんだから何もしてないよりダメだよ。学校というぬるま湯につかって思考停止してるんだよ

女２ でも学校行ってれば何とかなるんじゃないの？

女１ 学校があんたに何をしてくれるの？

女２ 分かんない

女１ 先生なんて所詮他人なんだから。信じたら裏切られるよ

女３ 女１が言うことではない

女２ でも

女１ でもじゃない

女２ でも

女１ じゃあ将来のこと考えてる？

女２ 考えてない

女３ 即答か

女１ 何も考えてない奴に世間の荒波は越えられないよ

女２ 私、どうしたらいいの？

女１ 学校を休むんだよ

女３ 女１？

女１ 学校なんか行ってる場合じゃないよ。人生について考えなきゃ

女２ でも学校行かなきゃ卒業できないでしょ

女１ 全部休めなんて言ってないよ

女２ そうなの？

女１ 私だってそのうち行くよ。でも、一週間休んだところで卒業には何の影響もないんだから

女２ え、そうなの？

女３ 女２？

女１ 卒業できるなら、単位が認定されるギリギリまで休んだっていいんじゃない？

女２ そうか、そうだね

女３ 女２

女２ それでいい気がしてきた

女３ よくないよ。何で女２まで休ませようとしてるの？

女１ 女２も休んだ方がいいって

女２ 私も休んだ方がいいらしいよ

女３ よくないって。女２は皆勤でしょ

女２ そうだった。私、皆勤なんだよね

女１ それがどうしたの？　皆勤に何の価値があるの？　頑張った証？　そんなの欲しい？

女２ 別にいらない

女３ 女２

女１ ほら。そんな他人の価値観に縛られて、意味のない授業に毎日出席して、そうやって人生が無意味なものになっていくんだよ

女２ そうなんだ

女３ 女２

女１ それよりも、学校休んで自分のやりたいことやってた方が、ずっと価値があるんじゃない？

女２ そうだよね

女３ 女２

女１ 学校なんか何の価値もないんだよ

女２ うん、学校に価値はない

女３ でも学校に行かないと友達に会えないよ

女２ そうだ。友達いないとつまんないな

女１ 卒業しても付き合いが続く友達って何人いると思う？

女２ え？

女１ 今はいいよ。毎日学校で会えるから。でも、みんな進路はバラバラで、卒業したらバラバラになるんだよ。この関係はどうせ今だけなんだよ。「あなたにとって私、ただの通りすがり。ちょっと振り向いてみただけの異邦人」なんだよ〔※〕

女２ 何それ

女３ 久保田早紀だよ

女２ 誰だよ

女１ どうせさよならするんだから、別に今会わなくたっていいでしょ

女２ そうだね

女３ 女２

女１ そうだ、女２、ここにいなよ

女２ え、ここに？

女１ そしたら学校行かなくても会えるしさ

女２ いいね、それ

女３ よくないよ

女２ でも、いいの？　迷惑でしょ？

女１ 何言ってるの。友達でしょ

女３ ミイラ取りがミイラになるっていう奴だ

女２ 何それ？

女３ ミイラを手に入れるためにエジプトのピラミッドに侵入するじゃない。でもピラミッドって墓泥棒対策でいろんな仕掛けがあるの。で、侵入すると閉じ込められて、自分もミイラになっちゃうっていう話

女２ それがどうしたの？

女３ 女２が今そういう状態ってこと

女２ 私はミイラじゃないよ

女３ 知ってるよ

女１ ほら、女３もミイラになっちゃえよ

女３ ならないよ

女１ どうして？　学校なんか行かない方がいいよ

女３ 行った方がいいに決まってるじゃない

女２ 証拠は？

女３ は？

女２ 学校行った方がいいっていう証拠は？

女３ 女２、高校卒業したらどうするの？

女２ 推薦で大学に行く

女３ 欠席多いと推薦してもらえないよ

女２ そうなの？

女３ ていうか、女２大学行くの？

女２ 行くよ

女３ だったら勉強しろよ

女２ いや、でも

女３ 勉強しなきゃ大学行けないよ

女１ 女２、聞いちゃダメだ

女２ え？

女１ 悪魔の囁きに騙されるな

女３ 騙してるのはお前だ

女１ それは汚い大人の意見なんだよ

女３ 事実だよ

女１ 正論振りかざして弱者をいたぶるつもりだろ

女３ 正論言って何が悪い

女２ 勉強した方がいいの？

女３ 当たり前でしょ。授業休んだらもっと勉強できなくなるよ

女２ もっとできなくなるの？

女３ そうだよ

女２ 私、学校行く

女１ 何でだよ

女２ 女１も勉強した方がいいよ

女１ さっき勉強しないって言ってたじゃん

女２ 勉強しないとアホのままだよ

女１ ムカつくな、その言い方

女２ 女３、女１を学校に連れ戻して

女３ でも、あんまり無理しなくていいんじゃない？

女１ え？

女３ そのうち行くってさっき言ってたし、子供じゃないんだから自分で何とかするでしょ

女２ 女３、知らないの？　女１はお子様だよ

女１ お前に言われたくないよ

女２ ダメだよ、何言ってるの？　女１、学校来なきゃ

女３ 何でそんなに必死なの？

女２ サトシに頼まれたから

女３ え？

女１ サトシ？

女３ サトシって

女２ 女１の元彼サトシ

女１ サトシが何て？

女２ 俺がフったせいで学校来ないかもしれない。悪いことした。絶対学校に連れてきてくれって

女３ え？

女２ クラスみんなで相談して

女１ 何でクラスみんなで相談するの？

女２ 私と女３が代表

女３ 私その話知らない

女２ 女３はいなかったね

女１ そういうのは内緒にしとこうよ

女２ 始業式からその話でもちきりだったよ

女１ 嫌だよ、絶対行かない

女２ でもサトシが学校に来いって

女１ それ、私とヨリを戻したいってこと？　今更そんなこと言われたって

女２ いや、そういうわけではない

女１ 何だよそれ

女３ そんな状態だったら尚更行かない方がいいかもね

女１ いや、行く

女３ え？

女１ サトシを殴りにいく

女３ 暴力はダメだよ

女１ いいんだよ、あんな奴

女３ そんなクラスに行くの気まずいでしょ

女１ 関係ないよ

女３ 人の噂も７５日って言うから

女１ ７５日も経ったら進級できなくなるでしょ

女３ とにかくもうちょっと様子を見た方がいいよ

女１ 何？　何でそんなに止めるの？　学校に来るように言いにきたんじゃないの？

女３ そうなんだけど

女２ やっぱりサトシも連れてこようよ

女３ ダメだよ

女１ 何でサトシ？

女２ サトシがいないと話がまとまらない

女１ どういうこと？

女３ 女２

女２ サトシ、今、女３と付き合ってるの

女１ は？

女３ 女２、言っちゃダメだって言ったでしょ

女２ でもいつかはバレるから早く言った方がいいよ

女１ え、ちょっと待って。サトシと女３が付き合ってるの？

女３ うん

女１ いつから？

女３ １２月２５日

女１ 何それ？

女３ ごめん

女１ １２月２５日って私がフラれた翌日じゃない。どういうこと？

女３ だからごめんって

女１ 何でそんなことになってんの？

女３ たまたま会ったの、買い物に行ってたら。そしたら言っておきたいことがあるって、女１と別れたって。で、つい私がポロっと、じゃあ私と付き合う？　って

女１ 女３から言ったの？

女３ 好きだったの。ずっと。サトシ君のこと。でも女１と付き合ってたから諦めてたの。女１は大事な友達だから

女１ じゃあ私がサトシと別れたって聞いてどう思ったの？

女３ ラッキーって思った

女１ はー？

女３ まさか付き合えると思わなかったから。サンタさんがプレゼントくれたんだなって

女１ 私に悪いなって思わない？

女３ だからごめんって

女１ 気まずくなるって思わない？

女３ 過去のこと気にしても仕方ないでしょ

女１ 過去って言うな

女３ もう去年の話だよ

女１ １ヶ月も経ってないよ

女３ とにかくそういうことだから。もうバレちゃったから隠しても仕方ないし、学校来ていいよ

女１ 何だよその上から目線

女２ だって。女１、学校おいでよ

女１ 軽いんだよ

女２ 何もかも忘れて新しい生活をしようよ

女１ お前がまとめるな

女２ 私はもう忘れたからさ

女１ どういうこと？

女２ 年末いろいろあったけど、もう忘れたってこと

女３ まだ何かあったの？

女２ でもこれ絶対言えないやつだから

女１ 言わないと友達やめるよ

女２ ダメ。言います

女３ 何？

女２ 私、サトシに告白された

女１ ん？

女３ え？

女１ どういうこと？

女３ よく分からない

女１ サトシに？

女３ 告白された？

女２ うん

女１ いつ？

女２ １２月２５日

女３ 何時頃？

女２ お昼頃

女１ はー？

女３ え？　どういうこと？

女１ で、どうしたの？

女２ 断ったよ

女３ 何で？

女２ 私、サトシに興味ないもん

女１ おい

女３ じゃあ、え、ちょっと待って

女１ サトシは１２月２４日に私をフって

女２ １２月２５日に私に告白して、フラれて

女３ その後、私に告白されて、付き合うことになった

 間。

女１ 何それ

女３ 何でそんなことになってんの？

女２ 最低だなサトシ

女３ 何で言ってくれないの？

女２ 言わない方がいいと思って

女１ 言えよ、そういう大事なことは

女３ そうだよ

女１ お前もだよ

女３ じゃあサトシは女２が好きだったの？

女２ そうらしいよ

女１ えー

女２ えーって言うなよ

女１ だって女２に取られたってことだろ

女２ 取ってないけど

女３ じゃあどういうつもりで私と付き合ってるの？

女２ ラッキーって思ってるんじゃない？

女３ え？

女２ 女１と別れて私と付き合うつもりだったのにうまくいかなくて落ち込んでたら、女３が引っかかってよかったってこと

女３ そうなの？

女１ でも女３もラッキーって思ったんだろ。いいじゃんラッキー同士で

女３ 私はずっと好きだったの

女１ どうでもいいんだよそんなこと。人でなし同士で仲良くやりな

女３ そんな男と付き合えるわけないでしょ

女２ だんだん私も腹立ってきた

女１ 私、明日学校行く。学校行ってサトシを殴る

女３ 私も

女２ じゃあ私も

女１ ボコボコにしてやろう

女２ 長い冬休みだったね

女３ 前を向くには必要な時間だったんだよ

女１ よし、じゃあ明日に備えて寝よう

女３ 散々寝たのにまだ寝るの？

女１ 寝る子は育つよ

女２ ねえ、ひとつ聞いていい？

女１ 何？

女２ 私達の友情は続くの？

 三者三様の反応。

 終わり。